

第6節 植物による大気質のモニタリング

第1項 調査概要

大気汚染指標種であるウメノキゴケ等について、施設供用後における本種の生育状況のモニタリング調査を実施した。

1 - 1 調査年月日及び調査内容

調査は表3 - 6 - 1に示したとおり春季から冬季にかけて各季1回の計4回実施した。

表3 - 6 - 1 調査年月日及び調査内容

調査時季	調査年月日	調査内容
春 季	平成 22 年 4 月 19 日	ウメノキゴケ等の生育状況調査
夏 季	平成 22 年 7 月 6 日	
秋 季	平成 22 年 10 月 14 日	
冬 季	平成 23 年 1 月 24 日	

1 - 2 調査場所

調査場所は図3 - 6 - 1に示した5地点とした。

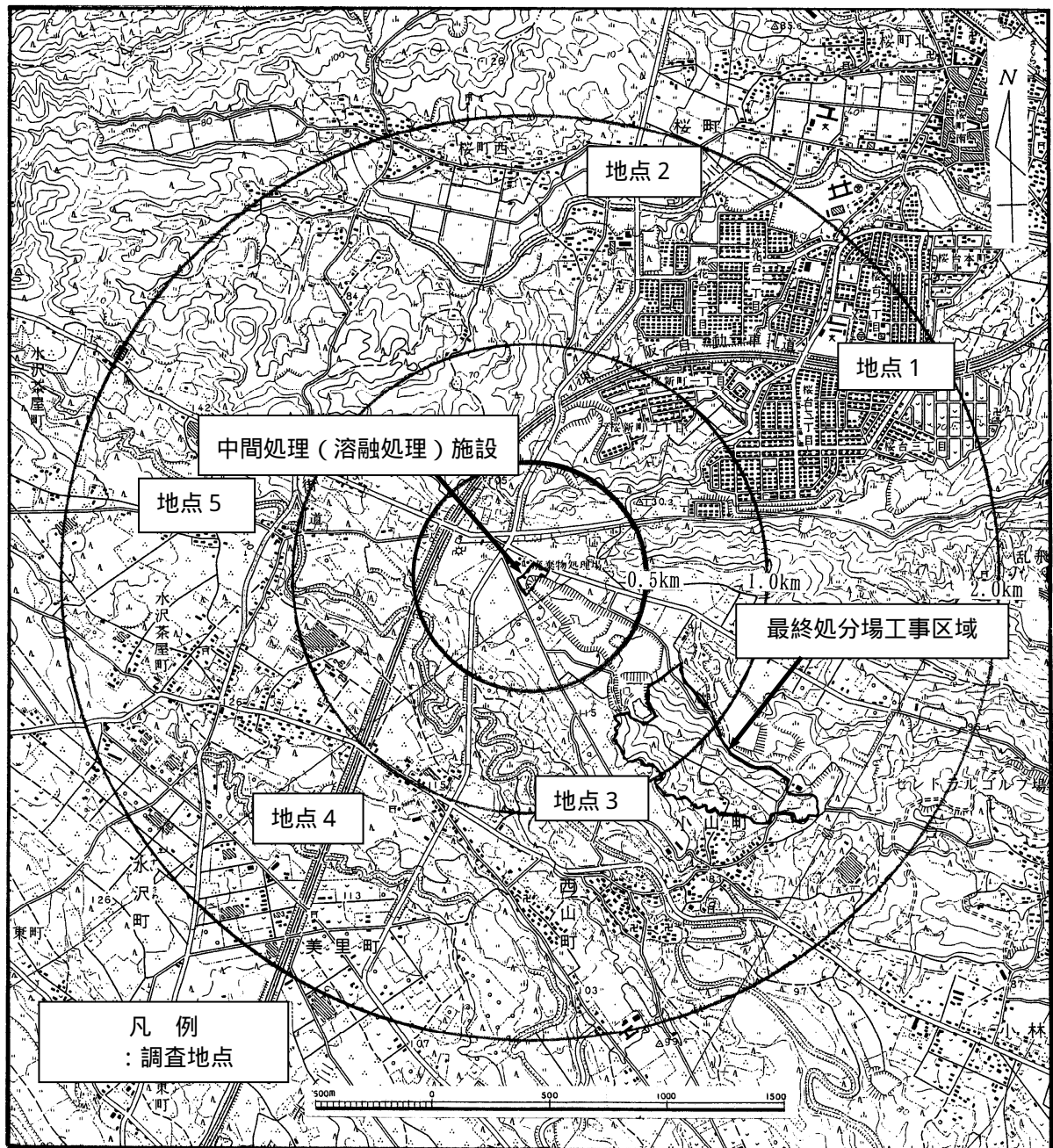


図 3 - 6 - 1 植物による大気質モニタリング調査地点

第2項 調査結果

調査の結果、表3 - 6 - 2に示したとおり、いずれの地点の株も生育は良好であった。

表3 - 6 - 2 (1) ウメノキゴケ等調査結果

時季	地 点	生育木	大きさ (cm)	色	細 胞	備 考
春 季	1	ニセアカシア	一面	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし	生育良好
	2	ケヤキ	枝に一面	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし	生育良好
	3	アメリカフウ	12.0×13.5	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし	生育良好
	4	ソメイヨシノ	一面	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし	着生木の老木化は著しいものの、樹皮の落下に伴う欠落は少なく、生育は良好
	5	スギ	6.0×4.0	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし	生育良好
夏 季	1	ニセアカシア	一面	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし	生育良好
	2	ケヤキ	枝に一面	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし	生育良好
	3	アメリカフウ	12.5×13.5	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし	生育良好
	4	ソメイヨシノ	一面	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし	春季と同様に生育は良好
	5	スギ	6.0×4.2	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし	生育良好

：「欠落」とは、本種が他の要因（人為的、着生木の成長・老朽等）により剥離することを指す。

「崩壊」とは、大気汚染等、生育環境の悪化に伴い、細胞が崩壊することを指す。

表 3 - 6 - 2 (2) ウメノキゴケ等調査結果

時季	地 点	生育木	大きさ (cm)	色	細 胞	備 考
秋 季	1	ニセアカシア	一面	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし	生育良好
	2	ケヤキ	枝に一面	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし	生育良好
	3	アメリカフウ	13.0×14.5	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし	ツル植物の巻きつきがあったため、その部分は欠落していたが、それ以外は生育良好
	4	ソメイヨシノ	一面	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし	春季と同様に生育は良好
	5	スギ	6.0×4.0	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし	ツル植物の巻きつきがあり、一部は生育不良もみられたが、それ以外は生育良好
冬 季	1	ニセアカシア	一面	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし	生育良好
	2	ケヤキ	枝に一面	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし	生育良好
	3	アメリカフウ	12.5×13.5	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし	秋季と同様で、一部を除き生育は良好
	4	ソメイヨシノ	一面	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし	春季と同様に生育は良好
	5	スギ	7.0×4.5	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし	生育良好

：「欠落」とは、本種が他の要因（人為的、着生木の成長・老朽等）により剥離することを指す。

「崩壊」とは、大気汚染等、生育環境の悪化に伴い、細胞が崩壊することを指す。

第3項 まとめ

今回の調査の結果、一部の株に着生木の老木化によると思われる影響がみられたが、その他の株の生育は良好であることから、施設の稼働に伴う影響はないと考えられる。